

## ひとり親家庭を支援する「トライ！あぐる」を結成

乳幼児や児童を養育しながら、「臨時・パート」と不安定な就業状況にある母子家庭等ひとり親家庭の増加傾向にあるなかで、子育てや自立就労のための“互助”の組織「トライ！あぐる」が設立されました。

子育てと女性の就労の支援のための「トライ！あぐる」は1998年11月12日、西成区の地域のひとり親家庭のお母さんたちを中心に結成され、翌年2月に西天下茶屋商店街「まさあ」内にオフィスを設置、専従スタッフ1人で運営しています。長橋、北津守、松之宮のひとり親家庭が集まり、自立就労支援、子育て支援に向けて話し合い、1997年から厚生省で制度化された「子育て支援基金」の事業認定を受け、設立されました。事業は、①地域で子育てを助け合う「子育てサポート事業」 ②在宅就労支援のための「テレワーク事業」 ③子育て支援・女性就労支援のための「情報発信事業」となっています。

「トライ！あぐる」が設立された背景には、母子家庭等のひとり親家庭が多く、そしてお母さんたちの相談も多く寄せられたことにあります。

- 西成区の母子世帯の動向を国勢調査でみると、平成7年の母子世帯数は869世帯でしたが、平成12年には1,082世帯とこの5年間で24.5%増加しています。これは大阪市全体の増加率とほぼ同じ割合になるなど、母子世帯が増加傾向にあることを示しています。
- 平成15年度全国の母子世帯の就業状況をみると、母子世帯の母の83.0%が就業しており、このうち「臨時・パート」はほぼ2人に1人と最も多くなっています。平成10年度の前回調査と比較して「常用雇用者」が1割減少した半面、「臨時・パート」が1割増加するなど、就業における不安定性の高まりが顕著に表れています。
- 就業している母のうち「臨時・パート」の末子の年齢階級では、「9～11歳」が最も多くなっています。また、平成10年度と比較しても末子の年齢階級は低下しており、母子世帯は子育て期の子どもを養育し、不安定な就業状態にあることがわかります。
- 母子世帯の平均収入金額でみると、平成9年は229万円、5年後の平成14年では212万円と17万円減少しており、厳しい生活状況が表れています。(以上平成15年度全国母子家庭等調査：厚生労働省)

表. 西成区の母子世帯数の推移(西成区)

母子世帯						
	平成12年			平成7年		
	世帯数	対市総数(%)		世帯数	対市総数(%)	
市総数	19,671	100.0		15,785	100.0	
阿倍野	612	3.1		520	3.3	
旭	591	3.0		515	3.3	
港	654	3.3		534	3.4	
此花	546	2.8		408	2.6	
住吉	1,384	7.0		1,178	7.5	
住之江	1,171	6.0		875	5.5	
城東	1,088	5.5		831	5.3	
生野	1,051	5.3		832	5.3	
西	542	2.8		429	2.7	
西成	1,082	5.5		869	5.5	
西淀川	542	2.8		436	2.8	
大正	592	3.0		493	3.1	
中央	409	2.1		340	2.2	
鶴見	745	3.8		549	3.5	
天王寺	486	2.5		422	2.7	
都島	648	3.3		537	3.4	
東住吉	975	5.0		857	5.4	
東成	527	2.7		453	2.9	
東淀川	1,586	8.1		1,157	7.3	
福島	301	1.5		228	1.4	
平野	2,035	10.3		1,458	9.2	
北	604	3.1		520	3.3	
淀川	1,142	5.8		952	6.0	
浪速	358	1.8		392	2.5	
平成12年10月1日 国勢調査			平成7年10月1日 国勢調査			

表. 母子世帯の平均収入金額(全国)

		母子世帯	
		平成9年	平成14年
平均世帯人員		3.16人	3.36人
平均有業人員		1.05人	0.88人
平均収入金額		229万円	212万円
うち就労収入		*	162万円
分布の代表値	第Ⅰ4分位数	118万円	113万円
	第Ⅱ4分位数 (中央値)	194万円	183万円
	第Ⅲ4分位数	291万円	276万円
世帯人員1人当たり平均収入金額		73万円	63万円
有業人員1人当たり平均収入金額		218万円	242万円

表. 母子世帯の母の就業状況(全国)

区分	総数	就業している	従業上の地位						不就業
			事業主	常用雇用者	臨時・パート	派遣社員	家族従業者	その他	
平成10年	(100.0)	(84.9) (100.0)	(5.7)	(50.7)	(38.3)	(*)	(*)	(5.3)	(13.6)
平成15年 総数	千世帯 1,225.4 (100.0)	1,017.3 (83.0) (100.0)	43.2 (4.2)	398.5 (39.2)	498.1 (49.0)	45.0 (4.4)	15.0 (1.5)	17.6 (1.7)	204.5 (16.7)
死別	千世帯 147.2 (100.0)	109.3 (74.3) (100.0)	7.1 (6.5)	34.4 (31.5)	58.2 (53.2)	2.6 (2.4)	3.5 (3.2)	3.5 (3.2)	37.9 (25.7)
生別	千世帯 1,076.4 (100.0)	907.1 (84.3) (100.0)	36.1 (4.0)	363.2 (40.0)	439.9 (48.5)	42.3 (4.7)	11.5 (1.3)	14.1 (1.6)	165.7 (15.4)

表. 就業している母の地位別末子の年齢階級の構成割合(全国)

	総数	専門的・技術的職業	管理的職業	事務	販売	農林・漁業	運輸・通信	技能工・生産工程及び労務	保安職業	サービス職業	その他
平成15年 総数	千世帯 1,017.3 (100.0)	(15.4)	(0.5)	(24.3)	(14.6)	(0.5)	(1.4)	(11.9)	(0.3)	(23.7)	(7.3)
常用雇用者	398.5 (100.0)	(26.3)	(0.4)	(33.8)	(10.4)	(0.2)	(2.2)	(7.7)	(0.4)	(14.4)	(4.0)
臨時・パート	498.1 (100.0)	(8.0)	(-)	(17.2)	(18.4)	(0.5)	(0.9)	(15.0)	(0.2)	(32.7)	(7.1)

出典：平成15年全国母子世帯等調査

「子育てサポート事業」は、有償ボランティア方式による地域の協同子育て事業です。会員登録によって、子どもを預かってほしい人(利用会員)と子どもを預かってくれる人(協力会員＝サポーター)を仲介する仕組みです。

「急な残業で保育所に子どもを迎えに行けない」

「夜勤の時に子ども見てくれる人がいない」

「子どもが熱っぽい、仕事を休めない」

といった保護者の声、悩みがよく聞かれます。

「子育てサポート事業」はそうした時に地域で子育てを助け合うシステムです。ひとり親家庭(母子・父子)や共働きの家庭で、お父さんやお母さんが仕事の都合などのために子どもの面倒をみることができない時に、子どもを預かる仕組みです。会員登録のシステムによって、満1歳から12歳の子どもを対象に、子どもを預かってほしい人(利用会員)と子どもを預かってくれる人(協力会員＝サポーター)を仲介します。子どもを預かる人は1時間当たり600円の利用料を支払い、子どもを預かってくれる人には報酬が支払われます。1999年8月末現在の会員数は53名、登録内容は(重複あり)は子育てサポート会員20名、子育てユーザー会員17名となっています。

他方、母等の就労による自立支援することを目的に、母子家庭の子どもを対象に、支援ルームにおいて生活指導、食事の提供等行う事業を社会福祉法人も実施しました。

ひとり親家庭子育て支援ルーム「ステップ」が社会福祉法人ヒューマンライツ福祉協会によって、1999年4月から活動が開始されました。ひとり親家庭等の自立支援のために、1歳以上9歳未満の子どもを対象に、保護者の夜間・深夜勤務に際し、その児童の託児と生活指導、食事提供を行うものです。火曜日と金曜日の週2回、午後6時から翌朝8時まで、長橋老人憩いの家のスペースを活用し、保育スタッフ2名で実施しています。

1999年8月の実施日数は11日、利用児童は3世帯7名、延べ24名、うち泊り利用17名、夜間のみ利用7名となっています。

子育てなどのために外に働きに出ることが難しい人のために、自宅や地域のなかでできる仕事を斡旋する仕組みがテレワーク事業です

母子家庭のお母さんを中心に、自宅や地域でできる仕事を斡旋するのがテレワーカークラブ「クリック」です。名簿等のデータ入力作業や新聞の編集、インターネットのホームページ制作など主としてパソコンを使った仕事を斡旋するものです。仕事を希望する人を「テレワーカー」として会員登録します。1999年8月末現在の会員数は31名となっています。

テレワーカークラブ クリックの概要



ホームページを作りたい。  
お客の名前がバラバラやんが…  
簡単な社内報を作りたい。  
誰かコンピュータ使えんかなあ。  
こんなコンピュータで管理できないの？

煩雑なデータ入力からホームページの作成まで、業務にあわせ、最適な人材で対応

テレワーカークラブ「クリック」は、母子家庭のお母さんを中心に、パソコンを活用した在宅勤務を行う事業所です。現在約40名の会員を擁し、簡単な事務リストの作成からホームページの作成まで、業務にあわせ最適な人材が担当。業務経験や技術指導など、(株)ナイスとの連携を図りながら、企業の情報化をお手伝いしています。

※クリック=CLICKは、Computer Labor Independent Cooperative with Qualities の略文字を組み合わせたものです。現在は、この文字がロゴマークです。

NICE 株式会社ナイスとは

地域の「生活」「コミュニティ」「子育て」を切り、暮らしの基盤に即した、コミュニティ型「労働者協同組合」である「労働者協同組合 株式会社ナイス」が、地域や労働者の就業支援事業に参画しています。その協同組合型労働者協同組合の組織や協働型労働者の就業、コミュニティ型労働者協同組合の就業・協働型労働者の就業・協働型事業を実施しています。



つながって、つながって、大きくなる。

一人ひとり、一つひとつの企業は小さくても、つながれば、もっともったい로운ことができる。私たちは、情報化のお手伝いを通じて、企業の発展を支えています。



データ入力業務

顧客名簿や印刷向けのテキストデータ作成、古いコンピュータから新たに購入したコンピュータへのデータの移動など、さまざまなデータ入力業務を行います。

データベース構築業務

顧客情報や月間・店舗別売上などをデータベース化し、在庫管理にコンピュータを使い、一企業や個人の利用目的にあわせ、データベースを構築いたします。

ホームページ作成業務

簡単な企業紹介から仮設店舗の出張まで、企業や個人のニーズに応じたホームページの作成や更新などの業務を行います。

パソコン講座の開催

社内でコンピュータを扱える人材を育てたい、テレワーカーに相談したい、会社の方を対象に、データ入力やホームページの作成などの講習会を実施します。

「情報発信事業」はフリーペーパーやホームページを通して情報を発信するものです。

地域を基盤にしたフリーペーパー(無料の新聞である)「トライ! あんぐる通信」を発行し、子育てや就労支援のための様々な情報とともに、インターネットのホームページを通して、情報を発信しています。この事業は社会福祉・医療事業団(子育て支援基金)の助成金により実施したものです。

「トライ! あんぐる通信」第1号には、「母子家庭でがんばる私たち」として、ひとり親家庭にあって、頑張ってお子さんをお育てしている元気なおかあさんが、自らの体験を述べています。

「…母親として子どもたちに人並みことはしてやろうと思うのですが、母子家庭というだけで、就職の方もなかなか思うようなところへは行かないのです。手に職をとって、ヘルパー2級の資格を取ったのですが、いざ探そうとしても、若い人の方を優先してしまうのです。結局アルバイト&パートでしか、受け入れてくれない。私たちは働く意欲は充分持っています。母子家庭の人たちにも、安心して働けるような場所が欲しいです」

1999年2月1日

子育てと女性の就労の支援のために

## トライ! あんぐる通信

働くお母さん! 応援します

昨年11月12日、西成の地域のひとり親家庭のお母さんを中心とした「トライ! あんぐる」が結成されました。

「トライ! あんぐる」は、ひとり親家庭を中心としたお母さんたちの悩みを解消し、また子育てを支援するために、地域で助けあうことを目的としたコミュニティ型労働者協同組合です。「トライ! あんぐる」では、次のような事業を進めます。

(1) 有償ボランティアによる地域の協同子育てのために「子育てサポーター」

- ひとり親家庭を中心に、働くお母さんを支えるために、有償ボランティア方式による地域の協同子育て事業を推進します。
- 「自分の得意な分野で子育てを支援したい」「活動の時に子どもを預けてくれる人がいない」「子どもが熱っぽい、仕事が終わらない」…そんな悩みを解決するために、地域で助けあうシステムを作り出します。
- 会員登録のシステムによって、子どもを預かってほしい人(利用会員)と子どもを預けてくれる人(協力会員)を仲介します。
- 子どもを預ける人は1時間あたり1,000円の報酬を支払います。子どもを預かってくれる人には報酬が支払われます。

(2) 在宅就労・地域就労を支援する「テレワーク」

- 子育てなどのために外に出ることが難しい人のために、自宅や地域の自宅で仕事をおこなうシステムをつくり出します。
- 簡単な名簿のデータ入力作業から、新聞の編集、インターネットのホームページ制作など、主としてパソコンを使った仕事をあつちします。

(3) 情報発信事業

- 地域を基盤にしたフリーペーパー(無料の新聞)を発行し、子育てや就労支援のためのさまざまな情報を提供します。
- インターネットのホームページを通じて、情報を発信します。
- 西成市産業商店街中央部にオープンする「マザー」内に情報提供のためのプラザを設けます。

この事業は、社会福祉・医療事業団(子育て支援基金)の助成金の交付により行っているものです。